

2020年10月12日 6面

文字サイズ 小 中 大 [ブックマーク](#) [印刷](#) 

東北整備局福島河川国道／コンクリ舗装現場（福島県伊達市）で若手職員向け見学会開く



東北地方整備局福島河川国道事務所は、福島県伊達市のコンクリート舗装工事現場で6日に現場見学を行った＝写真。若手職員を対象とした勉強会の一環。職員は施工を担当する前田道路の中田智監理技術者の説明を受けながら、コンクリート舗装工事や災害復旧工事の施工の様子を見学した。

見学会を開いたのは、同事務所が発注する「掛田トンネル他舗装工事」（霊山町掛田～保原町柱田）現場。主にトンネル部を連続鉄筋コンクリート舗装で施工し、完成すれば相馬福島道路の霊山～福島間の一部となる。

中田監理技術者は連続鉄筋コンクリート舗装と普通コンクリート舗装との違いや、前日の打設作業の様子、コンクリート舗装版の配筋状況を説明したり、施工機械・スリップフォームペーパーの機能を紹介したりした。現場ではスリップフォームペーパーを使ってミリ単位の高さ制御を自動で行う情報化施工を実施していることから、舗装工事で活用しているICT（情報通信技術）施工技術についても説明があった。

記事ID：3202010120606

---

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます